

令和 5年 12月 28日（木） 安全大会



- **本日の議題** 金森赤レンガ倉庫(北海道)はこだてクリスマスファンタジー
 - ①工事の現況と今後の予定（専務）
 - ②各現場状況報告（又は問題点）
 - ③その他

（注）安全大会の時刻は18：00(集合次第)～19：00とします。
その後は、自由参加としますので適時解散してください。

議題①：工事の現況と今後の予定

お疲れ様です。連日寒い日が続き、インフルエンザ等のはやり病が大変多く体調管理が難しい季節となっております。体を常に暖かくすることや室内でいる時は加湿器等で湿度を管理することに心がけましょう。

また、最近私に関心のあるものについて「薬害」があり、私たちが常用する薬品は決して体に完全に良いものではなく、できれば薬に頼らず昔から体に良いとされていた自然由来の物を口にするようにしています。

例えば「にんにくのハチミツ漬け」です。これは作るのはとても簡単で保存がきき、疲労回復・食欲増進・免疫力アップ・精力アップなどの効果が期待できます。

また、季節の果物等では「柿」も大変体によいものとされ昔は「柿が赤く熟せば医者が真っ青になる」などともいわれたそうです。

効能としては 悪玉コレステロール減少・美容効果・免疫力アップ・便秘改善(腸内環境の向上)・二日酔の改善促進・心臓を正常にはたらかせる(カリウム効果)他にも多々…

近年では生活習慣病に加え未知のウイルスやはやり病の爆発的感染等が行くとどなく我々を襲いそれに伴い病に倒れる方も多く現れています。予防のためのワクチンや薬の服用も

各お客様や協力会社さんに物件確認を進めています。また確定した際に各手配等の連絡いたします。

来年も例年にも増して物件数の波は変化が大きく予想されますので安定した物件獲得に向け無事故無災害はもちろんのこと建築現場にも引けを取らないような解体工事現場を構築していけるよう頑張っていきたいと思います。

※当社としての基本的心得※

1. ヘルメット・ハーネス・安全靴等作業に適した**保護具適正使用の徹底**に努める「基本は毎日習慣に」
2. 場内の重機作業エリアとの**区画整備・安全通路区画整備の徹底**に努める「重機接触は即死亡災害」
3. 場内及び現場周辺道路等の**清掃を定期的に行い美化**に努める「きれいな現場では事故は起きない」
4. 壁倒し後のガラ受けや**犬走の掃除**を毎度忘れずに「そのまま噛んだら足場や近隣様所有物を破損してしま
5. **現場内無線連携**(段取り・合図・居場所確認)の確立化を徹底する「見えないところも見える」
6. 高所作業時**ハーネスの2丁掛**の意味についてももう一度考えてみよう「掛替時に災害に隙を与えない」
7. 直近上位や元請様に**年齢関係なく親切丁寧な会話**を誠意をもって対話する「良心は巡って帰ってくる」
8. 近隣の方々へ日頃我々の仕事のために騒音振動など迷惑を掛けいるという意識を持ち、**挨拶や清掃で気持ちを返す**「気持ちは伝わる」
9. **重機配管カバー**は全部取付できているか? 「今一度確認!」※破裂→車、家等付着→清掃処置(損失大)
10. 解体工事を行う上で**必要設備資機材**はきちんと揃っているか? 「足りなければ手配連絡を!」
11. **熱中症に向けて意識**を高めよう「対策や有事の対応をおさらいしよう!」
12. 有事(災害や事故)や協議事項等の**事案が発生した場合は必ず会社へ連絡**する! 「本部にお客先から連絡が着て知ったのでは遅い! =印象が大変悪い!」
13. 1月の玉掛ワイヤーの点検職は... 白 です。 1月15日(月) 一斉点検

以上を基本的考えとして日々安全現場を構築していきましょう

ご安全に

②現状の作業工程等、気がついた事を報告してください。

～ 災害防止について今一度考えてみよう ～

・ 安全衛生キーワード

ハインリッヒの法則 (1 : 29 : 300の法則)

アメリカの損害保険会社の女社長で、めつたハインリッヒが発表した法則です。

「同じ人間が起こした330件の災害のうち、

1件は重い災害(死亡や手足の切断等の大事故)があったとすると、

29回の軽傷(応急手当だけですむかすり傷)、傷害のない事故(傷害や物損の可能性のあるもの)を300回起こしている。」というもので、

300回の無傷害事故の背後には数千の不安全行動や不安全状態があることも指摘しています。

また、ハインリッヒは、この比率について、鉄骨の組立作業と事務員では異なっているとも考えられますが、比率の数字そのものではなく、事故と災害の関係を示す法則としては、現在も十分に活用できる考え方とされています。

ハインリッヒの法則 (Heinrich's law)

- ✓ 労働災害における経験則。
- ✓ 1つの重大災害の背後には29の軽度の災害があり、その背景には300のヒヤリハットが存在するというもの。
- ✓ 事故・災害だけでなく、品質問題等にもよく当てはまる。

潜在化された不安全行動
(⇒作業精度のバラツキ)を**顕在化**させ対策するプロセスが重要。

